

# センター試験 地理B (本試験) 分析

## 全体概況

試験時間 60分

大問数・解答数	大問数：6題	解答数：35問	
難易度の変化（対昨年比）	● 難化 ○ やや難化	○ ほぼ同じ ○ やや易化	○ 易化
問題の分量（対昨年比）	○ 多い	● ほぼ同じ	○ 少ない
出題分野の変化	○ あり	● なし	
出題形式の変化	○ あり	● なし	
新傾向の問題	○ あり	● なし	
<p>総評 問題数は昨年と変わらず。しかし、6択問題が半分弱になったものの、その分、詳細な知識を要す4択問題が増加したため、全体的にかなり難化した。特に、第1問の問5のエルニーニョが与える影響の問題、第4問の問3のアメリカ合衆国の人種・民族別の社会経済的地位に関する問題、第5問の問3の発展途上地域の穀物生産に関する問題は教科書レベルを超えた問題である。</p>			

## 大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第1問	世界の自然環境と自然災害	16点	ハイサーグラフ、写真、正誤判定など典型的な問題であった。問5の異常気象についての問題は知識がないと対応できない問題であったが、全体的な難易度は標準的である。
第2問	世界の農牧業	18点	世界の農業について自然環境・社会条件との関連性について形式・内容ともに多岐に渡った出題となっている。問6の遺伝子組み換えの問題は、与えられた図表と正解との関連性が薄く、やや難しかった。
第3問	都市と村落、生活文化	17点	都市人口、宗教分布など、学習量によって差のつきやすい問題が見られた。問5の世界文化遺産、問6の食文化の問題は日常生活に密着したテーマの問題であった。全体的な難易度は標準的である。
第4問	北アメリカの地誌	18点	問1・2については歴史的事象を含めた問題となっているが、基本的な自然環境や歴史の知識で解くことができる。問3・4は決め手に欠ける難問であった。全体的にはやや難しい問題であったといえる。
第5問	現代世界の諸課題	15点	問2の緑の革命、問3穀物生産、問5のエネルギー供給の問題は正確な知識がないと選択肢の絞り込みが困難。全体的に難しい問題であったため、問1・4のような標準的な問題を落とさないことが大切である。
第6問	大井川流域の地域調査	16点	問1・3の写真問題は、上流と下流の地形相違から判定できる。地形図の読図の問題は、縮尺や断面図などの問題は出題されず、慎重に解けば難なく解答できる問題であった。全体的な難易度は標準的である。